

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立春ヶ丘学園	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 4 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/>	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/>	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、就労移行支援（一般）、就労継続支援（B型））の管理運営。		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																								
1	<p><b>施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み</b></p> <p><b>（1）施設の設置目的の達成</b></p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。</p> <p><b>【所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、個別支援計画の進捗状況の確認をスタッフ間で重点的に行う期間を設けるなど、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。</li> <li>・特別支援学校の実習、お試し体験による新規受入者対応や、障害者仕事サポートセンターや職業センター等の関係機関との連携により、施設の利用率93.6%とほぼ目標を達成している。（目標値94%）</li> <li>・就労移行事業について、障害者しごとサポートセンター等との連携により、一般就労へ目標を上回る10名の就職が実現している。</li> <li>・就労継続B型の工賃について、施設内利用者への月平均工賃は目標（3,850円）を上回る7,044円であった。施設外では積極的に施設外就労を推進するとともに、利用者のニーズに合わせてローテーションで週2～3回参加する形を導入するなど、より多くの利用者が参加できるよう工夫がなされており、38,022円と目標（38,580円）には届かなかったが、昨年度と比べ、大幅に増額となっている。（B型事業全体の工賃は15,381円）</li> <li>・広報紙を年4回（356部/回）発行し、ホームページの更新を年120回行うなどの広報活動を実施している。</li> </ul> <p><b>【利用率】</b> <span style="float: right;">単位：%</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>【参考】H22年度(更新前)</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>93</td> <td>94</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>102</td> <td>94</td> <td>95.6</td> <td>93.6</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【月平均工賃額（就労継続B型）】</b> <span style="float: right;">単位：円</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績</td> <td>12,876</td> <td>13,697</td> <td>15,381</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>（2）利用者の満足度</b></p> <p>① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p>	年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度	目標値	—	93	94	94	実績	102	94	95.6	93.6	年度	H23年度	H24年度	H25年度	実績	12,876	13,697	15,381
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度																				
目標値	—	93	94	94																				
実績	102	94	95.6	93.6																				
年度	H23年度	H24年度	H25年度																					
実績	12,876	13,697	15,381																					

- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

**[所見]**

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、70%以上（生活介護 76%、就労支援 71%）となっており、利用者の満足度は概ね高いものとなっている。
- ・行事やレクレーション活動には利用者の自己決定、自己選択の幅を設け、参加しやすく配慮されるとともに、利用者による実行委員会の設置など、利用者の意見を反映する体制となっている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設としても利用者からの出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・利用者へのサービス内容や行事説明に、視覚的な工夫をとり入れるなど、利用者個々の状態や家族等に配慮した情報提供等の取り組みに努めている。
- ・地域の公園花壇の整備活動や文化祭への参加、地元小学校との風船バレーボール交流会、また学園祭や生活介護の実施にあたっては、大学などからボランティア（210名）の受け入れにより、交流や障害の理解促進を図っている。

**施設の総合評価**

**【満足度】**

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	65	70	75
実績(生活介護)	82.9	85.4	75.9
実績(就労支援)	82.0	77.0	71.4

**2 効率性の向上等に関する取組み**

**(1) 経費の低減等**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

**[所見]**

- ・施設設備の適正な維持管理や温度設定の管理やグリーンカーテンの作成等による節電

などに取り組むとともに、業務の委託化による経費の削減に努めている。

**【光熱水費】**

単位：千円

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	—	3,414	3,378	3,554
決算	3,328	3,154	3,298	3,563

**(2) 収入の増加**

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

**[所見]**

- ・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。

**3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み**

**(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
- ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

**[所見]**

- ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- ・人権、専門分野など専門家を招いた研修の実施、また、研修受講者による内部報告会の開催など、職員の資質・能力の向上を図っている。
- ・職員の自己評価調査を実施し、現状確認や課題の洗い出しを行うなど、今後の支援に向けた取り組みがなされている。
- ・学園祭の実施（参加者 347 名）や公園の清掃活動等のボランティア活動を行い、地域住民や他の福祉施設との交流を積極的に行っている。
- ・職場実習として、専門学校生を実習生として 6 名受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。また、体験実習として、特別支援学校等の生徒を 13 名受け入れ、生徒の今後の進路決定の一助を担っている。

**(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など**

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。

⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

**【所見】**

- ・利用者の個人情報保護、衛生管理及び事故防止等について、マニュアルを整備し、適切な運営に努めている。
- ・虐待防止チェックリストの活用や、緊急時の対応を定期的に確認するなどの取組みが行われている。
- ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有を図るなど、事故に対する意識向上に取り組んでいる。
- ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取組みが行われている。
- ・避難訓練、AED研修会、防災情報の収集など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる。

**【総合評価】**

**【所見】**

事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、職員の自己評価調査の実施などサービス内容の充実に向けた資質・能力向上についても、目標管理がなされ計画的に行われている。

また、就労継続支援（B型）では、利用者工賃増額に向けた取組みがなされている。